

有機フッ素化合物分析

かつての便利な化学物質が引き起こしている水の汚染をご存知ですか？

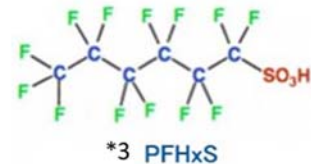
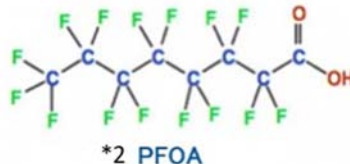
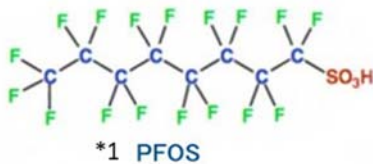


有機フッ素化合物 (PFAS) とは？

有機フッ素化合物 (PFAS あるいは PFCs) は、炭素-フッ素結合を持つ有機化合物の総称で、炭素鎖の長さが異なる複数の同族体が存在します。

他の物質にはない独特の性質 (水や油をはじく、熱に強い、薬品に強い、光を吸収しない等) を持つため、撥水剤、表面処理剤、乳化剤、消火剤、コーティング剤等、身近なものから幅広い用途に使われてきました。しかし、近年、地球規模での環境残留性及び生態蓄積性が明らかになりました。

なかでも、炭素数が 8 の「パーフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) *1」「パーフルオロスルホン酸 (PFOA) *2」については、毒性・蓄積性が明らかになり、さまざまな規制が国内外で進んでいます。また、規制のかかった PFOS の代替物質として、「ペルフルオロヘキサンスルホン酸 (PFHxS) *3」が用いられ、近年、PFHxS 及びその塩についても注目されています。



法規制等

・「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 (POPs 条約)」
PFOS 及びその塩 : 附属書 B (製造、使用、輸出入を制限すべき物質) 掲載

・「化学物質審査規制法 (化審法)」

PFOS 及びその塩 : 第一種特定化学物質

・「化学物質排出把握管理促進法 (化管法)」

PFOS : 第一種指定化学物質

・水道水質基準 2020 年 4 月施行

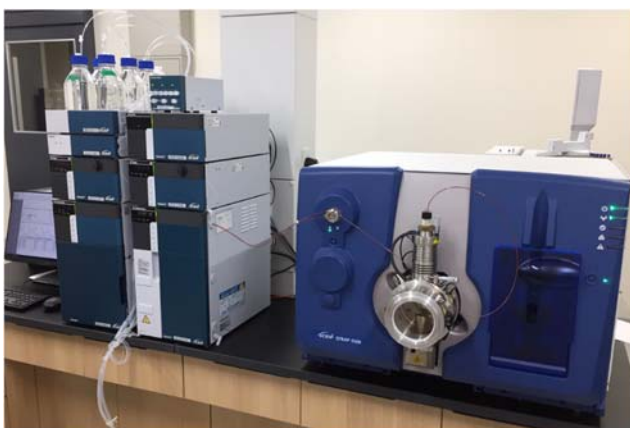
PFOS、PFOA : 水質管理目標設定項目 50 ng/L (合計値)

・水質環境基準 設定予定

PFOS、PFOA : 要監視項目 50 ng/L (合計値: 暫定)

2020 年 6 月時点

PFAS 分析は弊社へお任せください



PFCs分析装置: LC/MS/MS
高感度分析により、検体の採取を少量に抑えます! (最少10ml~)

「採取から分析まで」

PFAS は生活環境の中に溢れています。河川水、地下水、飲料水等の検体中の正確な濃度を出すため、扱う採取器具、容器の材質に至る一つ一つに注意が必要です。

弊社は、分析のプロが長年培ってきた経験をもとに、採水から測定まで高品質の成果をご提供します。

「将来を見据えた分析対応」

弊社では、すでに規制の対象となっている PFOS・PFOA、注目されている PFHxS を含めた、PFAS20 種類以上のラインナップがございます。

そのため、今後注目される成分に、いち早く対応が可能です。

分析のご相談、ご用命は

株式会社環境総合リサーチは株式会社建設技術研究所 (CTI) グループの一員です。

株式会社
ER&S 環境総合リサーチ
Environmental Research & Solutions co., Ltd.
e-mail : contact@ctiers.co.jp URL : http://www.ctiers.co.jp/

本社・けいはんな事業所 : 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台二丁目 3 番 9
Tel.0774-41-0200 Fax.0774-95-6510
中部事業所 : 〒444-0012 愛知県岡崎市栄町 4 丁目 1 番地
Tel.0564-21-0062 Fax.0564-65-5277
東京事業所 : 〒135-0016 東京都江東区東陽 6 丁目 5-6
Tel.03-6666-0570 Fax.03-6666-0571